

感染症対策としての方針（抗体検査及びワクチン接種）

2023 年 4 月 5 日改訂

特定非営利活動法人日本クリニクラウン協会は、「医療関係者のためのワクチンガイドライン 第 3 版」を参考に、以下の対応を行う。

1. ワクチン接種についての方針

- ①クリニクラウンは、麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の免疫を獲得したうえで訪問することを原則とする。
- ②クリニクラウンは、B型肝炎ワクチン接種を必須とする。（2017 年 12 月までに完了する）
- ③クリニクラウンは、インフルエンザワクチンを毎年接種する。
- ④クリニクラウンは、新型コロナウイルス感染症予防接種を 3 回接種したうえで病院を訪問することを原則とする。

2. 抗体検査の実施

クリニクラウン従事者および臨床研修生は、下記の 2 回のワクチン接種証証明もしくは、抗体検査（EIA 方式）を行い、結果を協会に提出する。

- ・麻疹
- ・風疹
- ・水痘
- ・流行性耳下腺炎（ムンプス）
- ・B型肝炎（2017 年 4 月より必須）
- ・結核検査報告（IGRA 検査 /クオンティフェロンおよび T-SPOT）
- ・百日咳（任意 今後必須にする可能性あり）

3. 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎のワクチン接種について

「医療関係者のためのワクチンガイドライン」の基準値に達していない場合は、すみやかにワクチンを接種し、接種記録（別途参照）を事務局に提出する。

4. 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎のワクチン接種期間中の訪問について

感染症の情報に留意し、周囲に流行がなく症状もなければ訪問可能とする。2 回のワクチン接種記録がある場合は、抗体検査の結果が基準値に達していない場合でも基準を満たしているものとする。臨床研修生は、抗体検査結果とワクチン接種した記録を提出後に訪問可能とする。

※1 ワクチン接種記録の参考資料 （下記の項目が揃えることが望ましい。— 4 頁参照）

予防接種済証

被接種者住所
被接種者氏名
予防接種を行った年月日
接種回数（ 1 回目 2 回目 ）
ワクチン名
メーカー名
ロット番号
日付
受託医療機関
代表者氏名または、接種を行った医師名

5. B型肝炎ワクチン接種について

B型肝炎のワクチン接種については、2017年2月から取り組みを開始し、すべてのCCがB型肝炎のワクチン接種が完了するよう対策を進める。また、新規クリニクラウンについては必須とする。

5-1. HBs抗原検査（B型肝炎ウイルスに感染の有無を調べる検査）

・検査結果

基準：HBs抗原 陰性（-）

* B型肝炎ウイルスに感染していない。HBs抗体検査を受ける。

基準外：HBs抗原 偽陽性（+-）、弱陽性（+）、陽性（2+）、強陽性（3+）

* B型肝炎ウイルスに感染しているので、その場合は治療が必要なため医療機関に相談すること。

5-2. HBs抗体検査（HBs抗原検査が陰性の場合に受ける）

・検査結果

基準：HBs抗体 陰性（-）

* B型肝炎ウイルスの抗体がない人。B型肝炎ワクチン接種をして抗体を作る必要がある人。

基準外：HBs抗体 偽陽性（+-）、弱陽性（+）、陽性（2+）、強陽性（3+）

* B型肝炎ウイルスを発症して治癒した人。B型肝炎ワクチン接種をした人。

5-3. HBsの抗体のワクチン接種

① ワクチン接種は、初回投与を行い、1か月後。6か月後の3回投与を行う。

（3回投与を1シリーズとする。）

② 1シリーズの3回目のワクチン接種終了後、1～2か月後にHBs抗体を測定し、陽性化の有無を確認するEIA法で10mIU/ml以上上昇している場合は、免疫獲得とする。

※免疫獲得者に対する経時な抗体価測定や免疫獲得者の抗体低下（10mIU/ml未満）に伴うワクチンの追加接種は必要ではない。

③ 1シリーズのワクチン接種後に抗体価上昇が観察されなかった場合は、もう1シリーズ再接種が奨励される。

④ 2シリーズでも抗体陽性化が見られなかった場合はそれ以上の追加接種での陽性化率は低くなるため「ワクチン不応者」として対応する。

5-4. ワクチン接種歴がある場合

① ワクチン接種歴があるが、免疫獲得であるかどうか（抗体が上昇したかどうか）が不明な場合は抗体検査を行う。陰性であれば1シリーズのワクチン接種を行う。（5-3を参照）

6. 結核検査報告（IGRA検査 /クオンティフェロンおよびT-SPOT）

IGRA検査（クオンティフェロンおよびT-SPOT）を行い、（検査日程、検査結果、測定値、判定結果）の情報を報告する。

7. インフルエンザワクチン接種について

クリニクラウンは、インフルエンザワクチンを毎年1回接種すること。

インフルエンザワクチンは、接種からその効果が現れるまで通常約2週間程度かかる。

約5か月効果が持続される。

7-1. インフルエンザ流行時の対応について

インフルエンザの流行にともない、以下の対応を流行期間中はお願いします。

①訪問の日の朝起きた時に検温し、検温結果を報告書の備考欄に記入すること。

②病棟の控室にて検温を行う。

→37.5度以上は訪問を中止すること。

→37.0度～37.4度については要注意とし、再度検温を行うこと。

(食後であったり、少し動いたり準備をしているの状況のため、落ち着いて再度計る)

③検温結果を前カンファレンスで病棟スタッフに伝える。

→検温結果が37.0度～37.4度の場合。

→平熱が低い場合には訪問を控える。

→平熱が高めのメンバーについては、朝の体温と訪問時の平均的な体温を伝え、体調についてスタッフに報告し訪問可能か相談する。

④健康状態についても前カンファレンスで病棟スタッフに伝える。

⑤家族や周囲のインフルエンザ罹患状況を病棟スタッフに報告する。

<家族や周囲のインフルエンザの疑いが出た場合の協会の対応>

①家族にインフルエンザの疑いが出た場合は訪問を控え、訪問するクリニックラウンの変更を行う。

②クリニックラウンの家族(子ども)が学級閉鎖になり自宅待機になった場合も同様に、訪問を控え、訪問するクリニックラウンの変更を行う。

③職場や友人などインフルエンザ罹患患者との接触があった場合は、速やかに協会へ報告をする。

8. 新型コロナウイルス感染症 予防接種について

クリニックラウンは、新型コロナウイルス感染症予防接種を3回接種したうえで病院を訪問することを原則し、予防接種証明書を提出する。

8-1 新型コロナウイルス感染症についての対応

「新型コロナウイルス感染症にかかる標準的対策」(別紙)に準ずる。



<この件に対しての問い合わせ先>

認定 NPO 法人 日本クリニックラウン協会

事務局 担当：熊谷恵利子

〒530-0053 大阪市北区末広町 3-11 天しもビル 3B

TEL : 06-4792-8716 FAX : 06-4792-8746

E-mail: info@cliniclowns.jp

<http://www.cliniclowns.jp>

予防接種済証

被接種者住所	
被接種者氏名	
予防接種を行った年月日	年 月 日
接種回数	(1 回目 2 回目)
ワクチン名	
メーカー名	
ロット番号	

年 月 日

受託医療機関

代表者氏名または、接種を行った医師名